

仕様書

- 1 品名 特別支援学校用大型スクールバス
- 2 数量 1 台
- 3 用途 特別支援教育が必要な県立特別支援学校に在学する児童・生徒の通学及び校外学習等での移動に使用する。

4 規格

(1) 車両種別 乗合自動車（大型バス）

(2) 基本性能

項目	規格
ボディタイプ	ノンステップバス
寸法	全長 11.99m以下 全幅 2.50m以下 全高 3.25m以下
客室内寸法	長 10.00m以上 幅 2.30m以上 高 2.40m以上
ホイールベース	6.0m以下
エンジン	ディーゼルエンジン 240 馬力以上
ミッション	MT ではないこと
ハンドル	右ハンドル（パワーステアリング）
サスペンション	エアサスペンション 車高調整装置付
燃料タンク容量	軽油 160 リットル以上
安全装置	・ A B S ・ 坂道発進補助装置 ・ アクセルインターロック ・ リターダー
昇降口	・ 2 箇所（左側前方及び左側中央）
環境性能	・ 令和 7 年度燃費基準（一般バス）を達成していること
その他	・ 道路運送車両法、同法施行法、関係法規、通達及び道路運送車両の保安基準に適合するものであること。 ・ 仕様を満たし、国内においてナンバーを取得し、公道（自動車専用道路を除く）を走行できる車両であること。

(3) 装備品

左側前方昇降口	・ 折戸式自動ドア（エアー式、鍵付き） ・ 左右 1 箇所に生徒昇降用握り棒を取り付ける。 ・ 開閉スイッチを設置する。
---------	--

	・ 丸型投射灯を設置する。 ・ ドア開閉パイロットランプ、丸型投射灯のスイッチをスイッチボックスに設置する。 ・ 扉操作部分に鍵を取り付ける。
左側中央昇降口	・ 引戸式自動ドア（エアー式） ・ 反転式スロープ板 ・ 丸型投射灯を設置する。 ・ ドア開閉パイロットランプのスイッチをスイッチボックスに設置する。 ・ 扉操作部分に鍵を取り付ける。
床関係	・ 突起物のないよう平らにすること。ただし、中扉後方部は階段有り。 ・ 中央通路幅は、44cm 以上とする。 ・ 床表面全体に滑りにくい素材の床張り上げ材（ロンリ्यूーム等）を貼り付ける。 ・ 床面に継ぎ目がある場合は、ノンスリップゴムを貼るなど車椅子のタイヤが滑らないようにする。 ・ 床面清掃用の排水口を車内に 4 箇所設置する。
窓関係	・ 紫外線防止及び飛散防止措置（全部） ・ 曇り防止熱線入りガラス（運転席右側、サイドミラー） ・ 布カーテン、カーテンバンド上下 2 箇所（客席、最後部含む） ・ 安易に全開閉できないよう開口幅は 150mm 程度とし、高い位置にストッパーを取り付ける。 ・ スモークガラス（車椅子固定席の周囲）
座席	・ 全席前向き座席とする。 ・ ハイバックシートの座面背当ては、高さ 70cm 程度とする。 ・ 最後部を除く全座席の背面及び通路側座席に握りを取り付け、シート及びシートカバーはビニールレザーで特に堅牢なものを使用し、シートに密着させる。 ・ シートは汚染時に清掃、拭き取りが容易であること。 ・ 窓側には保護クッションを取り付ける。 ・ 通路側には肘掛を取り付ける。 ・ シートベルトは取付け可能な座席全てに装着し、最後部席以外は巻き取り式とする。 ・ タイヤハウスの足場は、足を置いたとき平らになること。 ・ 座席位置について、上記仕様により難しい場合は、学校と協議する。
運転席	・ 布張りバケットタイプとする。
車椅子固定装置	・ 車両中央部に別紙座席配置図のとおり設置する。 ・ 走行中に外れない安全な装置とする。 ・ 固定部は、床から突起しないよう取り付ける。

	・ 車椅子用輪止めを台数分用意すること。 ・ 窓下腰板にパイプ２段を取り付け、うちパイプ下段は車椅子用輪止めを収納できる位置に取り付ける。
室内装備品	
右荷物棚	・ パイプ式に脱落防止ゴムを取り付け、運転席上部はボックスタイプとする。
ミラー	・ 室内中央向 L280×H180mm 程度 ・ 室内前方扉向 L280×H130mm 程度 ・ 室内中央扉向 φ280mm 程度
仕切り	・ 車椅子席と後方客席の間に仕切り板及び手すりを設置する。 ・ 各最前列席の前に運転席に支障が出ないよう仕切板を設置する。
保護材	・ 車内の手すりパイプに保護材を取り付ける。
サンバイザー	・ 運転席上部に L700×H285mm 程度のサンバイザーを取り付ける。
小物入れ	・ 運転席付近に設置する。
傘立て	・ 前方昇降口付近に着脱可能なものを取り付ける。
寒暖計	・ 運転席付近に取り付ける。
時計	・ 前方中央付近にアナログ式時計を取り付ける。
保安用具	・ 消火器、停止表示板、発炎筒、車輪止め、工具箱、その他保安に関するものを設置する。
空調関係	・ 換気扇（全自動標準型、強弱切替スイッチ付）前後２箇所 ・ ヒーター（温水式、プレヒーター付） ・ クーラー（直冷式） ・ 吹き出し口は個別にオフにすることが可能なものとする。
電装品関係	・ AM/FM アンプ付きラジオ ・ マイク２本（５m 直コード×１本、３.５m カールコード×１本） ・ マイクジャック３箇所以上（アンプ本体１、左右柱に各１以上） ・ カーステレオ（CD） ・ スピーカー６個（左右各３箇所） ・ 降車合図装置（点灯＋ブザー）及びスイッチ（運転席、昇降装置付近に各１）
室外装備品	
後方安全	・ バックモニター、バックカメラを設置する。 ・ 後退ブザーを設置する。
サイドミラー	・ 前方サイドミラー３箇所以上（丸型ミラーφ200mm 以上、熱線入り角型ミラー、アンダーミラー）
乗降安全	・ 車両後部にドア開閉に連動した電光表示板（乗降中）を設置する。 ・ 路肩灯を設置する。
その他装備品	・ タコグラフ（120km/h １日巻） ・ ワイパーは、間欠付ワイパーとする。

	・ タイヤは、チューブレスラジアルタイヤとする。 ・ 給油口に鍵を取り付ける。 ・ 給油口の周りにステンレスを貼る。 ・ ドライブレコーダー（走行中の車体前方、後方及び車内状況記録用）を設置する。
塗装	・ スクールバスマーク及び車椅子対応マークを4方に記入する。 ・ 学校名を前面上部及び左右側面に表示・記入する。

(4) その他構成品

本体	・ シヤシは最新型式のものを使用すること。 ・ 使用材料及び部品は、新品のものを使用すること。 ・ 乗員の安全確保のために必要な強度と剛性を有すること。 ・ 車両及び設備は、走行中の振動や衝撃などの振動に耐える構造とすること。 ・ 品質保持のために必要な防錆対策等をして耐久性を向上すること。 ・ 車内での乗員移動の容易性及び空調設備などの車内居住性に配慮すること。
ぎ装材料	・ 合成樹脂は、難燃性のものを使用すること。 ・ ゴム製品は、耐油性の合成ゴムを使用すること。 ・ ビス類は、耐腐食性を有するステンレス製等を使用すること。 ・ 耐熱、耐火材としてアスベストを使用しないこと。
電気装置	・ 端子露出部は、被覆保護を施すこと。 ・ 配線は、天井及び側板の内側等に敷設し、車内外に露出させないこと。 ・ 配線等の貫通部は、振動等による断線防止処理を施すこと。 ・ 熱に弱い電装品は、エンジン等の発熱部の影響を受けない距離をとって取り付けること。ただし、距離を確保できない場合は防熱対策を施すこと。
銘盤等	・ スイッチ類には、名称及び「入・切」又は「ON・OFF」等の表示をすること。 ・ 各機器、計器類には名称を表示すること。ただし、これにより難い場合で県が承諾したものについては、この限りではない。 ・ 給油口には、使用燃料種別を表示すること。 ・ ヒューズボックスには、各ヒューズの用途及び容量を表示すること。

(5) 個別事項

ア 磐田特別支援学校 特記仕様

座席	定員 32人 (座席配置図のとおり) 乗席 30人 車椅子 1人 乗務員 1人
----	--

	・ 全座席ハイバックシートとし、10 度程度のリクライニングが可能なものとする。（チャイルドシートが取り付け可能なものとする。） ・ リクライニングレバーは、通路にはみ出さないものとする。 ・ 通路幅は、44cm 以上とする。 ・ ハイバックシートの背面に体固定マジックベルトを取付可能な状態にすること。 ・ 体固定マジックベルトを、最後部を除く 25 席分、用意すること。（幅 10cm、面ファスナー部 40cm 程度。長さ 170cm 程度） ・ 室内及びシートは目に優しい落ち着いた色（具体的には学校側と協議）を基調にする。
塗装	・ ベース色＋指定 4 色塗装とし、デザインは別途県と協議する。

5 製作図書

受注者は製作に先立ち、次の図書類を県に提出し、承認を得ること。なお、提出書類は A4 綴りとし、2 部提出すること。

- (1) 製作工程表
- (2) 製作仕様書
- (3) 取付品及び装備付属品一覧表
- (4) その他、県が指示するもの

6 完成図書

受注者は、納入にあたって、次の図書を 2 部県に提出すること。なお、写真は A4 版クリアファイルに綴じ、画像データを記録した CD-ROM を添えて提出すること。

- (1) 社内検査試験成績書
- (2) 完成仕様書（製作開始から完成までの記録写真添付のこと）
- (3) 文書データ、画像データを記録した CD-ROM
- (4) 自動車検査証、自動車損害賠償責任保険証の写し
- (5) 車両、積載品等の取扱説明書及び積載品の保証書
- (6) その他、県が指示するもの

7 検査

- (1) 中間検査は、架装の完成時に、仕様書及び製作図書に基づき製作されているか確認するため、別表の項目について検査する。
- (2) 完成検査は、納入時に車両性能及び付属品等を含めた車両の状態等が仕様書、製作図書、中間検査時の指導項目などに基づき製作されているか確認するため、別表の項目について検査する。
- (3) その他随時検査は、県又は受注者が必要と認めたときに行う。
- (4) 検査日程については、県と協議の上、検査希望日の 2 週間前までに決定すること。
- (5) 検査には、県職員並びに受注者の技術担当者及び営業担当者が立ち会う。

8 車両登録

- (1) 車両新規登録に伴う全ての事務手続きを行い、初度登録検査に合格した後に納入すること。
- (2) 自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法に基づくリサイクル費用を除く、登録手続き等に係る一切の費用は、受注者が負担するものとする。

9 納入

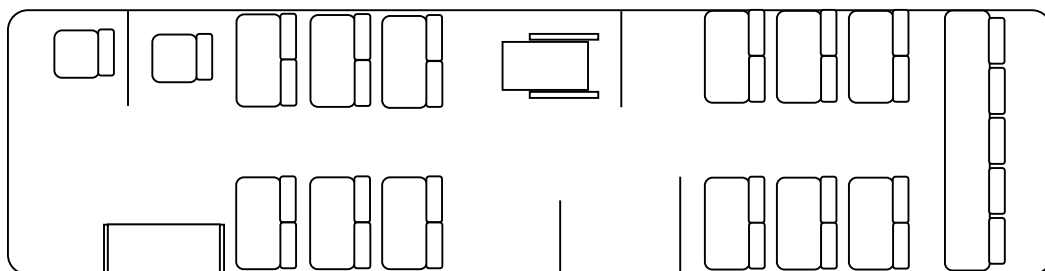
- (1) 本車両の納入は、中間検査及び完成検査における不備などの指摘事項を改善した状態で納入すること。
- (2) 納入期限は、令和9年3月19日（金）までとする。納車日程の調整等にあたっては、静岡県と十分協議すること。
- (3) 納入場所は、下記のとおりとする。

納入場所	数量	所在地	連絡先
静岡県立磐田特別支援学校	1	磐田市加茂 1026	0538-43-6611 (袋井特別支援学校)

10 その他

- (1) 完成車両の回送費用、試験及び技術指導等に関する費用については全て受注者が負担すること。
- (2) 架装及び車両の移動にあたっては事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合は速やかに本県に連絡をするとともに、その被害について一切の責任を受注者が負うこと。
- (3) 仕様に変更の必要が認められたときは、直ちに県に連絡し、その指示を受けた後、速やかに変更後の図面等関係資料を提出し、製作にあたり疑義が生じないようにすること。仕様に一致しない場合でも機能的に代替できる場合は、静岡県に相談の上、承諾を得てから施工すること。

<座席配置図> ※座席の配置は参考とし、これにより難しい場合は協議して決定すること。



別表

中間検査および完成検査時の確認項目等

項目	規格及び方法
シャシ製造番号	仕様書、製作図書に基づき、実測、目視及び操作により確認する。 また、完成検査にあつては、中間検査時の指導項目に対する状況も確認する。
エンジン型式	
燃料タンク・配管の状況	
外観検査	
積載品等の固定	
昇降口関係（前方昇降口） （中央昇降口）	
床関係	
窓関係 運転席右窓熱線入り・布カーテン/カーテンバンド2ヶ所付き・紫外線防止・飛散防止	
座席関係（一般座席） （運転席） （車椅子固定装置）	
室内関係装備品 換気扇・右荷物棚・ミラー・仕切り・保護材・サンバイザー・小物入れ・傘立て等・寒暖計・時計・保安用品	
電装品関係 AM/FMアンプ付ラジオ・マイク2本・マイクジャック3ヶ所以上・CD式カーステレオ・降車合図用点灯スイッチ及びブザー	
暖房・空調関係 温水式及びプレヒーター・直冷式クーラー	
室外設備関係 バックモニター、バックカメラ・前方ミラー3ヶ所・後退ブザー・路肩灯・乗降電光表示板	仕様書、製作図書、および自動車検査登録の内容による
その他 タコグラフ・間欠付ワイパー・指定色塗装・スクールバス+車椅子対応マーク・学校名等名入れ表示・トランスミッション・ABS装置・坂道発進補助装置・鍵付き給油口・スイッチ類設置場所配慮・給油口ステンレス貼り・チューブレスラジアルタイヤ・ドライブレコーダー	
寸法・重量及び機能	仕様書、製作図書、および自動車検査登録の内容による